

# 1 東広島市教育の基本理念・基本目標

令和元年6月に策定した第2期東広島市教育振興基本計画において、本市教育の基本理念と基本目標を次のとおり定めました。

## (1) 基本理念

「夢と志」をもち、グローバル社会をたくましく生きる人材の育成

本市には、充実した「学術・技術・研究」機能があります。産業界では、多くの先端技術産業やその研究拠点が立地しています。また、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、エリザベト音楽大学の4大学を有し、学術研究機能が充実しています。こうした、先端産業や大学の存在は、施設のみならず多くの優秀な人材の存在があり、市民が優れた技術や研究に触れることができる環境が整っています。

加えて、国の史跡である三ツ城古墳をはじめ、多くの文化財の存在、緑豊かな山々、風光明媚な瀬戸内海、棚田やため池、酒蔵や煙突のある町並み等、地域固有の貴重な財産を有しており、郷土の歴史や文化、地域の自然や環境への理解や関心を深める教育の展開が期待されています。

こうした中、市民を取り巻く社会や家庭・地域の状況が大きく変化していることにも目を向ける必要があります。情報通信技術の進展、交通手段の発達による移動の容易化、市場の国際的な開放等により、人、物材、情報の国際的移動が活性化し、グローバル化が目に見えて進展しています。これらに対応するため、諸外国との教育交流、外国人材の受入れ、グローバル化に対応できる人材の養成など、教育の果たす役割も大きくなっています。

また、今後の社会においては、長寿化に伴う「人生100年時代」の到来と、超スマート社会(Society5.0)<sup>※1</sup>の実現が特に重要なテーマになっています。若年期において、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の涵養といった資質・能力を身に付けることに加え、人生100年時代をより豊かに生きるため、生涯にわたって自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の課題解決のための活動につなげていくことの必要性が一層高まっています。

更に、こうした変化の激しい社会を生き抜いていくためには、市民一人一人が、生涯にわたって質の高い学びを重ね、それぞれの分野で成長し、新たな価値を生み出し、輝き続ける力を身に付けることが不可欠となります。

これらの状況を踏まえ、東広島市の将来を担う人材、東広島市から世界にはばたく人材、グローバル社会をたくましく生きる人材の育成を具現化していくための、本市教育行政の道標となる「第2期東広島市教育振興基本計画」を策定しました。本計画に基づき本市の特長を活かした教育を積極的に推進することにより、世界に通用する力を伸ばし、どのような社会の変化にも対応できるようにするとともに、一人一人の「夢と志」を育てる教育を目指します。

(※1) ①狩猟社会、②農耕社会、③工業社会、④情報社会に続く、人類史上5番目の新しい社会のこと。

## (2) 基本目標

基本理念の実現のため、学校教育、教育環境、生涯学習・社会教育、青少年健全育成、文化、スポーツの分野ごとに、基本目標を設定し、その目標達成に向け各種施策を展開します。

### (1) 学校教育

◇基本目標「知・徳・体のバランスのとれた子供たちの『生きる力』<sup>※2</sup>の育成」

本市におけるこれまでの教育実践を継承しつつ、東広島の特色を生かした教育を推進し、新たな教育課題に対応することで、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を身に付けた子供の育成を目指します。

### (2) 教育環境

◇基本目標「教育施策推進のための基盤整備」「学びのセーフティネットの構築<sup>※3</sup>」

学校等において、質の高い教育を推進するための基盤を整えるとともに、新しいことにチャレンジでき、家庭の経済事情にかかわらず、それぞれの夢に向かって頑張ることができる教育環境の整備を目指します。

### (3) 生涯学習・社会教育

◇基本目標「生涯学び、活躍できる環境の整備と学びを通じたまちづくりの推進」

市全体が市民の学びを支えるキャンパスとなるよう、身近な学習機会から大学や試験研究機関等と連携した高度で専門的な学習機会にいたるまで、市民が生涯にわたり主体的に学び、その成果を生かすことのできる環境を整備します。

### (4) 青少年健全育成

◇基本目標「青少年の健やかな成長を支える環境の形成」

家庭・学校・地域が連携して、次代を担う青少年の育成を図るとともに、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性を持った人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境づくりを目指します。

### (5) 文化

◇基本目標「歴史・文化の継承と新たな市民文化の創造」

本市の歴史・文化の正しい理解のために欠くことのできない文化財を次世代に継承し、公開活用するとともに、市民が優れた文化芸術に触れ、主体的に参加できる環境を整備することにより、個性的で文化の薫り高いまちづくりを目指します。

### (6) スポーツ

◇基本目標「生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成」

「いつでも」運動やスポーツに参加できる機会の充実、「どこでも」スポーツを楽しめる場所や人の確保、生涯を通じて「だれでも」楽しめるスポーツ機会の充実を通して、「地域で」活発に運動・スポーツを楽しむことにより生まれる地域のつながりを活かしたスポーツによるまちづくりを目指します。

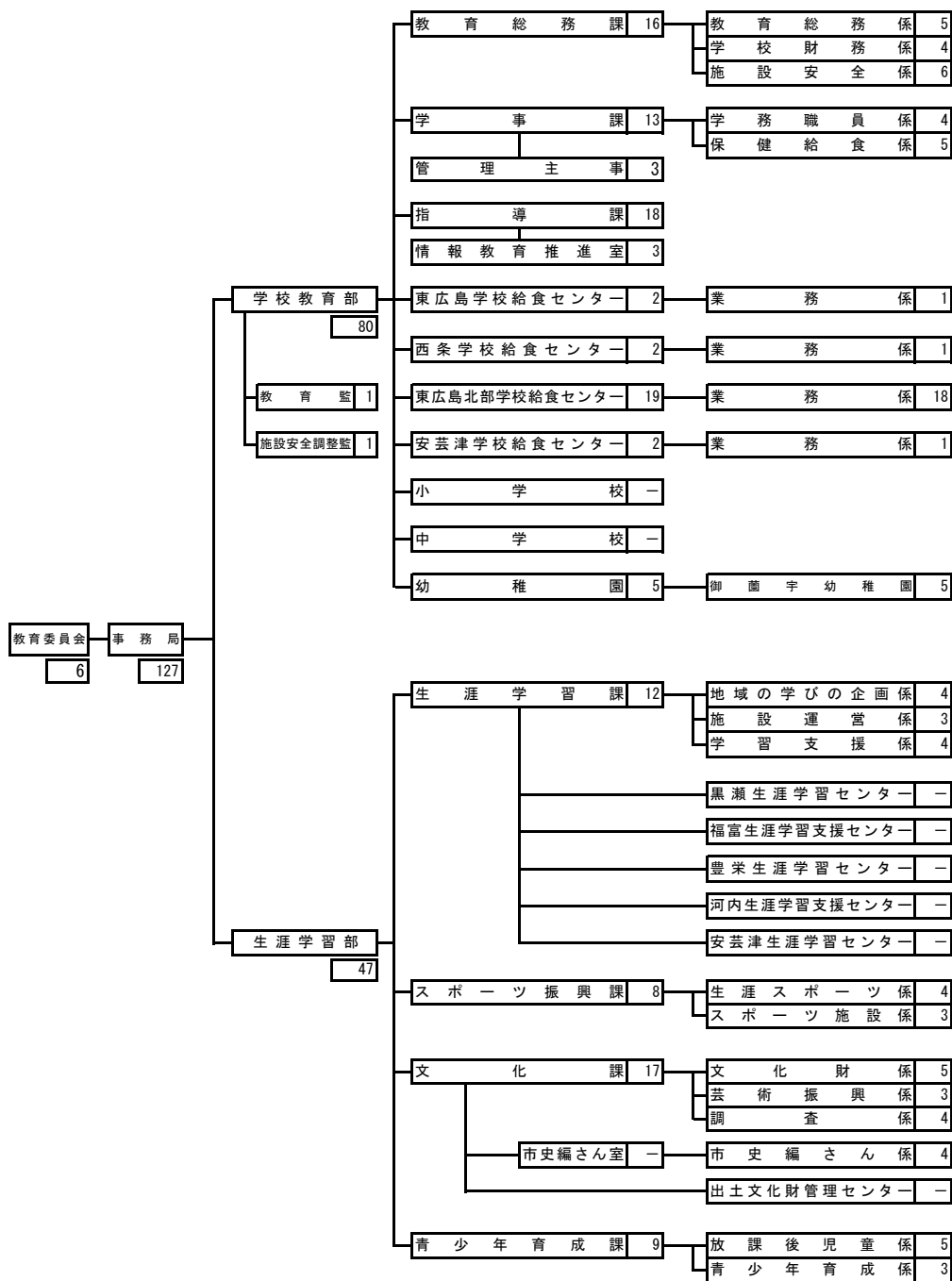
(※2) 「基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力(知)」「自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性(徳)」「たくましく生きるための健康や体力など(体)」のバランスのとれた力のこと。

(※3) 様々な困難や課題を抱え支援を求めている者に対して、生涯を通じて多様な学習機会を確保すること。

(第2期東広島市教育振興基本計画より抜粋)

## 2 機構図

令和5年4月1日



注1 令和3年4月から、幼稚園の入退園、管理運営等に関する事務は、市長部局（こども未来部）において補助執行している。

注2 黒瀬生涯学習センター長はシニアスタッフ・短時間勤務のため、豊栄及び安芸津生涯学習センター、福富及び河内生涯学習支援センター長は兼職のため、それぞれ計数していない。

注3 市史編さん室長及び出土文化財管理センター所長は兼職のため、計数していない。

### 3 職務級別職員数

(令和5年4月1日現在)

区 分	部 長	教 育 監	次 長	調 整 監	課 長	室 長	所 長	館 長	主 幹	参 事	課 長・室長補佐	所 長 補 佐	専 門 員	管 理 主 事	主任指導主事	指導主事	係 長	主 査	主任主事	主任主事	主 事	学 芸 員	園 長	教 頭	教 諭	給 食 調 理 員	合 計
<b>学校教育部</b>	1	1	3	1	2	1	2	0	0	0	8	2	1	2	0	11	4	7	1	3	10	0	1	1	3	15	80
教育総務課			1								2						1	4	1	1	6						16
学 事 課					1						3			2			1	1		1	4						13
指 導 課					1	1					3		1			11		1									18
東広島学校給食センター			1														1										2
西条学校給食センター							1					1															2
東広島北部学校給食センター			1									1						1		1						15	19
安芸津学校給食センター							1										1										2
小 学 校																											0
中 学 校																											0
幼 稚 園																							1	1	3		5
<b>生涯学習部</b>	1	0	1	0	3	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	6	13	3	4	10	0	0	0	0	0	47
生涯学習課			1						1	1	2							4		1	2						12
スポーツ振興課					1						2							1			4						8
文 化 課					1												4	5	2	1	4						17
青少年育成課					1												2	3	1	2							9
<b>総 計</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>12</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>11</b>	<b>10</b>	<b>20</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>20</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>15</b>	<b>127</b>

注1 県職員、再任用職員(短時間)、育休任期付職員、会計年度任用職員は除く。

## 4 教育委員会の沿革概要

昭和49年	1974	4月	東広島市誕生 教育委員会発足 事務局に3課（総務課・学校教育課・社会教育課）設置 事務局職員26人 八本松小学校開校 原公民館開館、東高屋公民館開館
		12月	中央公民館開館
昭和50年	1975	3月	中央公民館落成式
		4月	小谷公民館開館
昭和51年	1976	9月	三永歴史民俗資料館開館
昭和52年	1977	9月	東西条小学校開校 八本松歴史民俗資料館開館
昭和53年	1978	4月	教育次長設置 事務局職員28人
		10月	指導室設置、室長外指導主事4人配置
昭和54年	1979	4月	御藺宇幼稚園開園
		5月	第1回市民体育祭
		6月	市立美術館開館 造賀公民館開館
昭和55年	1980	4月	平岩小学校開校 社会教育課に文化財係設置、指導主事兼係長外2人配置 事務局職員31人
		6月	志和公民館開館
昭和56年	1981	4月	御藺宇小学校開校 学校教育課、指導室を学事課、指導課に改称 社会教育課に社会同和教育指導担当を設置、指導主事2人配置 事務局職員33人
		7月	グリーンスポーツセンター開場
昭和57年	1982	6月	郷田公民館開館
昭和58年	1983	4月	磯松中学校開校 社会教育課に庶務施設係を設置 中央公民館長常勤となる 事務局職員37人（県派遣1人含む。）
昭和59年	1984	4月	吉川公民館開館
昭和60年	1985	4月	松賀中学校開校 平岩公民館開館
		10月	移動図書館車の巡回サービス開始
昭和61年	1986	4月	御藺宇公民館開館

		9月	市立美術館の二階部分の増築工事完成
昭和62年	1987	4月	社会教育課の庶務施設係を廃止 中央公民館に図書係を設置 事務局職員35人（県派遣1人含む。） 三永公民館開館
		11月	中央公民館に図書開架室開設
昭和63年	1988	4月	志和堀公民館開館
		11月	第1回教育祭開催 第1回市美術展開催
平成元年	1989	4月	保健体育課設置 事務局職員40人（県派遣1人含む。） 板城公民館開館
		5月	第1回東広島市民スポーツ大会（陸上）開催
		9月	第1回東広島市民スポーツ大会（球技）開催
平成2年	1990	4月	東志和公民館開館
		11月	第1回市民スポーツレクリエーション祭開催
平成3年	1991	4月	高美が丘中学校開校 川上公民館開館 社会教育課に図書館準備室を設置 保健体育課にアジア・国体係を設置 事務局職員44人（県派遣1人含む。）
		11月	第1回生涯学習フェスティバル開催
平成4年	1992	4月	高美が丘小学校開校 寺西公民館開館 社会教育課の図書館準備室、中央公民館の図書係及び保健体育課のアジア・国体係を廃止、新たに図書館準備室、アジア・国体準備室を設置 事務局職員45人 広島アジア競技大会組織委員会派遣2人
		6月	中央公民館の図書開架室を廃止
		7月	財団法人東広島市教育文化振興事業団設立、総務課、事業課設置
		11月	サンスクエア図書館開館
平成5年	1993	4月	生涯学習推進室を設置 財団法人東広島市教育文化振興事業団に文化財センターを設置 事務局職員42人 広島アジア競技大会組織委員会派遣4人 第9回アジアレスリング選手権大会（アジア競技大会リハーサル大会）
平成6年	1994	4月	事務局職員43人 広島アジア競技大会組織委員会派遣4人 史跡三ツ城古墳復元オープン 中央図書館開館

		10月	第12回アジア競技大会ひろしま1994開催
平成7年	1995	4月	生涯学習情報センター準備室設置 事務局職員43人 ひろしま国体東広島市実行委員会派遣4人
		9月	東西条交流センター（東西条公民館）開館
平成8年	1996	4月	事務局職員44人 ひろしま国体東広島市実行委員会派遣5人
		7月	サンスクエア情報ステーション設置
		10月	第51回国民体育大会ひろしま国体開催
平成9年	1997	3月	国体室を廃止 中央公民館の庶務係、事業係を廃止
		4月	高美が丘公民館開館 学校教育部及び生涯学習部の2部を設置し、学校教育部に総務課、学事課及び指導課を、生涯学習部に生涯学習課、体育課、文化課及びサンスクエア情報ステーションを置く。 事務局職員45人
平成10年	1998	4月	生涯学習部生涯学習課に青少年担当を設置 事務局職員171人 旧石井家住宅開設
平成11年	1999	4月	生涯学習課青少年担当を青少年係とし、中央図書館に庶務係と図書係を置く。
		10月	第11回全国生涯学習フェスティバル東広島大会（第9回東広島市生涯学習フェスティバル）開催
平成12年	2000	4月	学校教育部学事課学校職員担当を学校職員係とし、保健給食担当を保健給食係とし、体育課生涯スポーツ担当を生涯スポーツ係とし、文化課芸術文化担当を芸術文化係とし、八本松学校給食センターに業務係を、中央公民館に生涯学習係を置く。
		11月	第15回国民文化祭・ひろしま2000東広島市開催事業「酒と文化の祭典」、シンポジウム「文化の原点・マナー」開催
平成13年	2001	4月	三ツ城小学校開校及び西条学校給食センター開設 三ツ城コミュニティハウス開設 事務局職員171人
		7月	児童青少年センター開設（サンスクエア東広島1階） サンスクエア図書館をサンスクエア児童青少年図書館に改称
		10月	東広島市民ギャラリー開設（フジグラン西条駅前SC5階）
平成14年	2002	4月	学校教育部総務課において施設係を廃止するとともに学校用度係を新設し、指導課において学校教育指導担当を教育指導担当に、学校同和教育指導担当を人権教育指導担当に改め、生涯学習部生涯学習課において社会同和教育指導担当を人権教育担当に改め、東広島アザレア大学（仮称）設立担当を置く。事務局職員168人（北広島市からの派遣職員1人を含む。）

		10月	第15回全国スポーツ・レクリエーション祭・スポレク広島2002「女子ソフトボール大会」開催
		11月	ボランティア活動支援センター開設（サンスクエア東広島2階）
平成15年	2003	3月	電子図書館システム（としまるネット）稼働
		4月	学校教育指導課において、人権教育指導担当を生徒指導担当に改める。 生涯学習部生涯学習課において、東広島アザレア大学（仮称）設立担当を東広島アザレア生涯大学運営担当に改める。 生涯学習部に青少年育成課を新設し、青少年係を設置する。 事務局職員173人
		7月	生涯大学システム開始
平成16年	2004	4月	事務局職員170人 小規模特認校制度スタート（吉川小学校、志和堀小学校）
		6月	生涯学習まちづくり出前講座開始
		8月	市制施行30周年記念事業 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催（実施場所：東広島運動公園）
平成17年	2005	2月	2月7日黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町と合併し新東広島市発足。合併に合わせ、学校教育総務課を教育総務課に改め、施設安全係を新設。学事課において学務係と学校職員係を廃止し、学務職員係に統合。既存の福富・豊栄・河内学校給食センターに加え、安芸津学校給食センター新設。生涯学習部生涯学習課において生涯大学システム担当を新設。黒瀬・福富・豊栄・河内・安芸津分室地域教育課を新設。体育課をスポーツ振興課に改め、スポーツ施設係を新設。黒瀬図書館、河内こども図書館、安芸津図書館新設
		3月	西志和コミュニティハウス竣工
		4月	事務局職員245人 二学期制開始（市立小中学校） 安芸津学校給食センター開所、稼働開始
		8月	広島大学宇宙科学センター附属東広島天文台の建設工事着工
平成18年	2006	3月	東広島市生涯大学システムアクションプラン（改訂版）
		4月	事務局職員242人 移動図書館車の新規導入と運行エリアの拡大 小規模特認校追加（竹仁小学校、河内西小学校）
		5月	広島大学宇宙科学センター附属東広島天文台の開所
		6月	東広島市天文台広場供用開始
		7月	新・学校教育レベルアッププラン策定
		8月	市内小中学校の適正配置を検討するため「東広島市学校適正配置検討委員会」設置
平成19年	2007	2月	図書館システム統合
		3月	「東広島市学校適正配置検討委員会」より検討結果の報告書提出 東広島青少年自立プラン策定



			東広島市スポーツ振興計画策定
		4月	事務局職員238人 教育次長を廃止 (仮称)東広島給食センター着工
		5月	市内の幼稚園、小中学校にAEDを設置
		12月	(仮称)西条第二中学校基本構想策定
平成20年	2008	1月	黒瀬図書館増築工事が完了し、閉架書庫(30,000冊収容)と移動図書館車庫を新たに設置 東広島市民ギャラリーを移転オープン
		3月	(仮称)東広島給食センター完成 東広島市教育委員会委員定数条例が制定される。教育委員の定数を5人から6人に増員
		4月	事務局職員238人 12,000食の調理能力を持つ東広島学校給食センターが開所
		9月	東広島学校給食センター稼働開始。市内の17小・中学校へ約6,000食を配送
		10月	和文化教育第4回全国大会東広島大会を開催 東広島市立小学校統合基本方針を策定
平成21年	2009	3月	大芝小学校を廃止
		4月	中央図書館福富分室、河内こども図書館を移転、中央図書館福富分室・豊栄分室を地域図書館として運用開始 事務局職員238人 学校教育部に青少年育成課を移設
		7月	学校給食が全てセンター方式に移行。7センターで約18,000食を配送
		9月	平成23年度開校予定の(仮称)西条第二中学校の名称が「中央中学校」に決定
平成22年	2010	1月	東広島市立美術館開館30周年記念展開催
		4月	事務局職員224人
		6月	第三次学校教育レベルアッププラン策定
		8月	出土文化財管理センター開所
		9月	福富パークゴルフ場開場
平成23年	2011	3月	小松原小学校及び大田小学校を閉校し、4月1日に風早小学校へ統合
		4月	事務局職員209人 2文化センター及び3公民館を生涯学習センターとするとともに31地区公民館を地域センターとして市長部局へ移管 中央中学校開校
		5月	小中一貫導入検討委員会設置
		8月	西条学校給食センター調理業務の民間委託開始
		11月	和文化教育第7回全国大会東広島大会を開催
平成24年	2012	4月	事務局職員205人

		河内パークゴルフ場が市長部局から移管
		東広島市小中一貫接続教育基本方針を策定
平成25年	2013	8月 安芸津学校給食センター調理業務の民間委託開始 通学路の緊急合同点検を実施
		9月 安芸津中学校校舎改築工事完了
		10月 異文化交流体験空間「E-スクエア」開設
	2013	3月 財団法人東広島市教育文化振興事業団の文化財センターを廃止
		4月 事務局職員210人 生涯学習部生涯学習課に市民ホール整備室を新設 文化課の係を文化財係と芸術文化係に再編し、出土文化財管理センターを新設
		6月 土曜日授業試行
		7月 高屋町に第2児童青少年センターを開設
		8月 (仮称)東広島市市民ホール着工
		11月 「ひがしひろしま教育の日」の制定
平成26年	2014	3月 東広島市図書館サービス計画策定
		4月 事務局職員192人 生涯学習部生涯学習課「市民ホール整備室」を「芸術文化ホール推進室」に改める。 生涯学習部地域教育課を廃止し、福富町及び河内町に生涯学習支援センターを新設 東広島市教育振興基本計画策定 夢・挑戦プラン～第四次学校教育レベルアッププラン～策定 東広島市生涯大学システムアクションプラン改訂
		8月 市制施行40周年に合わせ、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会ほか関連事業を多数実施 「東広島市いじめ防止基本方針」策定
		9月 東広島芸術文化ホールの愛称を「くらら」に決定
平成27年	2015	2月 河内スポーツアリーナオープン
		3月 安芸国分寺歴史公園開園 東広島市子どもの読書活動推進計画(第2次)策定
		4月 新教育長設置 事務局職員190人 もみじ小学校・もみじ中学校開校 福富多目的グラウンドオープン 第1回東広島市総合教育会議を開催
		6月 居所不明児童生徒等に係る東広島市教育委員会及び東広島警察署の連携に関する協定の締結
		10月 (仮称)寺西第二小学校新設に着手
平成28年	2016	2月 中央生涯学習センター閉館

		東広島市美術館建設基本構想・基本計画策定
	3月	児童の健全育成に係る東広島市教育委員会と東広島警察署の連携に関する協定の締結 東広島市立小学校の統合基本方針の改訂
	4月	事務局職員161人 生涯学習部生涯学習課の係を学習総務係、学習支援係及び施設運営係に再編、同課「芸術文化ホール推進室」を廃止し、文化課の芸術文化係を芸術振興係に名称変更して再編 中央生涯学習センター及び中央図書館の内部組織を廃止 東広島芸術文化ホール くらら（芸術文化ホール、中央生涯学習センター、市民ギャラリーの複合施設）オープン、指定管理者による運営開始 市立図書館7館、指定管理者による運営開始 安芸津生涯学習センターホール、安芸津図書館竣工 八本松小学校新校舎竣工 志和市民グラウンドオープン
	6月	（仮称）北部学校給食センター着工
	8月	全国高校総体
	9月	（仮称）寺西第二小学校着工
平成29年	2017	2月 平成30年度開校予定の（仮称）寺西第二小学校の名称が「龍王小学校」に決定
	3月	東広島市スポーツ推進計画策定
	4月	事務局職員158人 学校教育部学事課に北部学校給食センター準備係を新設
	7月	東広島北部学校給食センター完成
	8月	学校教育部学事課の北部学校給食センター準備係を廃止 八本松学校給食センター、福富学校給食センター、豊栄学校給食センター及び河内学校給食センターを廃止し、5,000食の調理能力を持つ東広島北部学校給食センターが開所
	9月	メキシコオリンピックチーム（卓球・レスリング・ゴルフ）による事前合宿受入地に決定
	10月	河内地区小学校統合に関する合意書調印
	11月	東広島市歴史文化基本構想策定
	12月	日本の20世紀遺産に、西条酒蔵通りが「西条の酒造施設群」として選定 志和地区小学校統合に関する合意書調印
平成30年	2018	1月 福富地区小学校統合に関する合意書調印
	3月	西条本町歴史広場開園
	4月	事務局職員150人 生涯学習部文化課に美術館係を新設 黒瀬多目的グラウンドオープン 龍王小学校開校

	5月	メキシコオリンピックチーム（レスリング）交流合宿受入
	6月	（仮称）東広島市立美術館着工
	7月	メキシコオリンピックチーム（ゴルフ）交流合宿受入 平成30年7月豪雨災害の発生
	8月	志和地区小学校統合に関する合意内容の変更合意書調印
平成31年	2019	11月 西条酒蔵地区伝統的建造物群保存対策調査の開始 3月 志和堀小学校を閉校し、4月1日に西志和小学校へ統合 河内西小学校を閉校し、4月1日に河内小学校へ統合 4月 事務局職員148人
令和元年		6月 第2期東広島市教育振興基本計画策定 7月 メキシコオリンピックチーム（ゴルフ）交流合宿受入 黒瀬、安芸津地区の小中学校10校に先行して空調機設置 9月 東広島市生涯学習推進計画策定 東広島市図書館サービス計画（第2期）策定 11月 新東広島市立美術館竣工、指定管理者との共同運営 学校における働き方改革取組方針策定 12月 第五次学校教育レベルアッププラン策定 東広島市小中一貫・接続教育基本方針改定
令和2年	2020	1月 広島交響楽団東広島定期演奏会の連携・協力に関する協定の調印 3月 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、 小中学校臨時休業（3月2日から3月25日まで） 4月 事務局職員142人 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、 小中学校臨時休業（4月16日から5月6日まで） 幼稚園臨時休業（4月22日から5月6日まで） 5月 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、 幼稚園、小中学校臨時休業（5月7日から5月31日まで） 10月 東広島市子どもの読書活動推進計画（第三次）策定 11月 八本松市民プール、清武西区民プール、小田区民プール廃止 東広島市立美術館移転・開館
令和3年	2021	3月 竹仁小学校及び久芳小学校を閉校し、4月1日に福富小学校を開校 4月 事務局職員139人 学校教育部教育総務課に情報教育推進室を新設 生涯学習部に青少年育成課を移設し、同課の青少年係を青少年育成係に 名称変更、同課に放課後児童係を設置 生涯学習部文化課の美術館係を芸術振興係に統合
令和4年	2022	3月 西志和小学校及び東志和小学校を閉校し、4月1日に志和小学校を開校 西条酒蔵地区伝統的建造物群保存地区の選定に着手（地元説明） 4月 事務局職員138人 志和生涯学習センター廃止

- 三ツ城コミュニティハウス廃止  
 河内小学校を河内中学校敷地内に移転  
 生涯学習部文化課に市史編さん室を新設  
 学校教育部教育総務課に学校支援センターを新設
- 7月 志和アグリ図書館開設  
 学校における働き方改革取組方針改訂
- 11月 スポーツ施設の聖地化決定（第1次 廃校2施設、既存4施設）
- 令和5年 2023 1月 市立美術館が登録博物館として登録
- 3月 学びのキャンパス推進事業における行動計画策定  
 八本松中央幼稚園閉園
- 4月 事務職員127人  
 学校教育部に教育監を設置  
 学校教育部教育総務課の情報教育推進室及び学校支援センターを指導課に移管  
 生涯学習部生涯学習課の学習総務係を地域の学びの企画係に名称変更  
 （公財）東広島市教育文化振興事業団の強化開始、文化課の学芸部門を（公財）東広島市教育文化振興事業団に移管  
 学校における働き方改革取組方針改訂  
 児童生徒のかけがえのない命を守るためのトライアングルプラン改訂